

### 第8回 生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物

植物は、食用や薬用、鑑賞用として私たちの生活に密接に関わっています。さらには、癒し効果や抗疲労効果などの様々な生理作用を有することが報告されています。

今回は、その中でも食用植物成分による生活習慣病の予防効果として、マテ、マンゴー、ナンキョウ(タイショウガ)に着目しました。マテは、主に南米諸国で栽培されており、マテの葉や茎から作られるマテ茶は、世界三大飲料の1つにあげられています。マンゴーは、代表的なトロピカルフルーツとしてよく食されています。タイなどのマンゴー生産国では、ジュースやドライフルーツなどの食品加工における果肉の利用に伴い、種子が多量の産業廃棄物として処理されているため、その有効利用について期待されています。東南アジア原産のナンキョウ(タイショウガ)は、トムヤムクンなどのタイの伝統料理には欠かせない食材です。ナンキョウの根茎に含まれる成分には、様々な生理作用を有することが明らかにされています。

本講演では、これらに含まれる成分によるアルコール性肝疾患の予防効果、抗肥満効果、認知症の予防効果とその作用メカニズムについて紹介いたします。



マテの木

日時：2017年3月25日（土）14時～16時（雨天実施）

場所：大阪市立大学理学部附属植物園 研究棟講義室

参加費：350円必要（中学生以下無料）

定員：40名（先着順）

アクセス：京阪交野線私市（きさいち）駅より徒歩約6分

JR学研都市線河内磐船駅より徒歩約20分

#### プログラム

講演「生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物」

講師 小島 明子

（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授）

#### 参加申込方法

☆来園、電話、ハガキ、FAXまたは電子メールにて下記の情報をお送りください。

(1) 氏名(ふりがな)、(2) 住所、(3) 電話番号、

(4) 差し支え無ければ職業または勤務先(任意)を下記宛お送りください。

〒576-0004 大阪府交野市私市 2000 FAX 072-891-2101

大阪市立大学理学部附属植物園「第8回植物園市民講座」係

☆メールの場合は件名を「第8回植物園市民講座参加希望」として(1)～(4)を b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へお送りください。

